

島根原子力発電所2号機におけるプルサーマル発電の実施に向けた説明について

本年1月14日に、中国電力㈱から、島根原子力発電所2号機におけるプルサーマル発電の実施に向けた取り組みを進めていくとの発表がありました。このことに関し、中国電力㈱は、今後、関係自治体及び地域住民に対し丁寧に説明する必要があるとの認識のもと、さまざまな機会を通じて多くの方への理解促進に努めていく方針です。

これを受け、本市においては、今後の対応として中国電力㈱からの市議会への説明の機会を調整させていただく予定としています。

【参考】

1. プルサーマル発電とは

「エネルギー資源の有効利用」、「使用目的のない余剰プルトニウムを持たないという国際公約履行」などの観点から、原子力発電所で使った使用済燃料をMOX燃料〔ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料〕に加工し、もう一度原子力発電所（軽水炉）で再利用すること。

◆国内でプルサーマル発電を実施している発電所

高浜3、4号機（関西電力：福井県）

伊方3号機（四国電力：愛媛県）

玄海4号機（九州電力：佐賀県）

◆「プルサーマル」は、2つの言葉の造語

プ ル：プルトニウム

サーマル：サーマル・リアクター（軽水炉という原子炉のこと）

2. 島根原発2号機 プルサーマル計画に係る主な経緯

H17(2005). 9. 12 中国電力㈱がMOX燃料の使用について、安全協定に基づく事前了解願いを島根県及び松江市に提出

H18(2006). 10. 23 島根県及び松江市が、中国電力㈱へ基本了解の回答
中国電力㈱が、国に原子炉設置変更許可申請

H20(2008). 10. 28 国が原子炉設置変更を許可

H21(2009). 3. 24 島根県及び松江市が中国電力㈱へ事前了解を回答

R 3(2021). 9. 15 原子力規制委員会が、島根原発2号機の新規制基準適合性に係る原子炉設置変更を許可（新規制基準への適合には、MOX燃料の使用を含む）